

東京PCB廃棄物処理事業だより (No.49)

平成29年度事業所方針

4月3日、年度初めにあって、JESCO東京PCB処理事業所・田中所長からJESCO社員と運転委託会社の東京環境オペレーション(株)社員に平成29年度事業所方針について訓示を行いました(内容は以下の囲み)。長期処理計画および長期保全計画に基づいて、安全で安定した操業と保全を確実に実行し、PCB廃棄物の早期処理完遂をめざして取り組んで行くことを全員で確認し、実現することを誓いました。



事業所方針 所長訓示

- 平成29年度 JESCO東京PCB処理事業所方針**
1. **安全で信頼される操業体制**を維持する。
 2. **安全・確実な操業**を確保し、**長期処理計画**を推進する。
 3. **工程内処理残渣及び運転廃棄物の処理**を促進する。
 4. 処理施設の**長期保全計画**に基づき、健全なる**設備の保全・更新**に努める。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会

東京PCB処理事業部会を開催しました



東京PCB処理事業部会

2月27日、平成28年度第3回東京PCB処理事業部会(主査：永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。
 部会では、議題1として、平成28年度下期の操業状況及び周辺環境測定結果等の報告を行いました。年度当初のトラブルにより、全体の処理に遅れが生じましたが徐々に挽回していることを確認いただきました。
 議題2として、外部への環境影響はありませんが、No.1水熱分解設備にて六価クロムの濃度が上昇する現象がみられたことについて、その状況と対応を報告しました。
 議題3として、平成28年度の1都3県の長期処理計画について報告しました。
 議題4として、事業所内の設備に対する長期保全計画と平成29年度の設備保全予定項目について報告しました。

議題5として、リン化合物含有PCB油の実証試験機の設置に関する技術部会での検討結果を報告しました。
 議題6として、本社が実施した事業所の内部技術評価の結果について、問題がなかったことを報告しました。
 今後も各委員からご指導をいただき、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成29年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	59台	3,556台
コンデンサ類	2,184台	48,899台

*連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

*低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました



環境安全委員会

3月30日、第37回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会（委員長：中杉修身 国立環境研究所環境リスク・健康研究センター）を開催しました。

議題1として、平成28年度下期の操業状況や今後の処理計画、また周辺環境の測定結果等について報告しました。

議題2として、東京PCB処理事業部会で報告したリン化合物含有PCB油の実証試験機の設置について、技術部会での検討結果を報告しました。

議題3として、東京PCB処理事業部会で報告したNo.1水熱分解設備の六価クロム濃度上昇現象とその対応について報告しました。

議題4として、長期保全計画と平成29年度の設備保全予定項目について報告しました。

委員会の最後に中杉委員長から、今後トランス・コンデンサ回収について、自治体と協力して進めていくようご意見をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

※環境安全委員会は公開にて開催しており、当日配布資料は当社ホームページでご覧いただけます。

http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/safety_plan.html

首都圏広域協議会が開催されました

3月7日、当社東京PCB処理事業所にて第21回首都圏広域協議会が開催されました。広域協議会は、1都3県5政令市および6中核市で構成され、東京PCB廃棄物処理事業に係る広域調整に関して、安全の確保及び連絡調整を図ることを目的として開催されています。

会議では、最初に会長である東京都から、計画的処理完了期限の平成34年度末まで、あと約6年であり、各自治体では、処理対象物の掘り起し、立入指導、保管・適正処理等の指導を進めているところですが、自治体間で情報交換をしながら、期限内処理を目指して着実に前に進んでいきたい、とのご挨拶がありました。

環境省からは、PCB廃棄物等の掘り起し調査マニュアルの一部改訂、今後のPCB廃棄物処理の進捗状況をどのように把握するか、また、早期処理実現のための平成29年度の予算案等の説明がありました。

当社からは、①平成28年度の処理実績、②平成29年度受け入れ予定量、③処理の進捗状況、④1都3県に係る重点搬入計画、⑤安定器等・汚染物の処理量、等を報告しました。

出席自治体からは、今後、掘り起しでPCB廃棄物が増えた場合の、JESCO受入量の割当の考え方等について質問があり、PCBの早期処理推進に向けて有意義な意見交換がなされました。



首都圏広域協議会

平成28年度 施設見学者状況

平成28年度は、保管事業者、官公庁等、スーパーエコツアーの参加者、学生など、合計813名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	4月-6月	7月-9月	10月-12月	1月-3月	年度計
団体数	22団体	23団体	22団体	23団体	90団体
見学者数	185名	216名	254名	158名	813名

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>